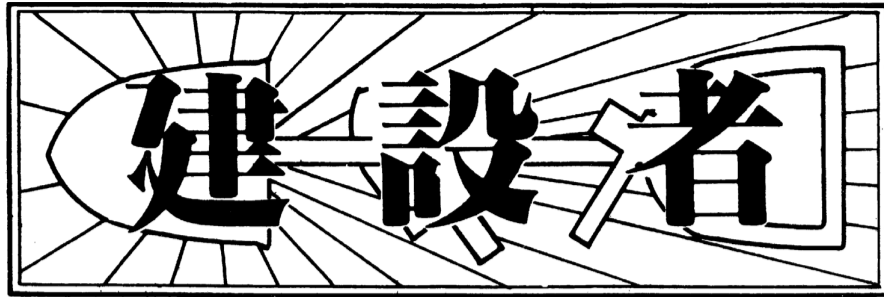


今月の葛飾組織現勢

2022年4月1日	4245人
加入	60人
転入	1人
脱退	42人
転出	2人
2022年5月1日現在	4262人



東京土建一般労働組合

葛飾支部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電話 (5698) 1 2 6 1
 FAX (5698) 1 2 6 2
 発行人 関根伸正

2年ぶりの1日定期大会 1008人の参加で方針を確認

4月10日(日)第69回葛飾支部定期大会をテクノプラザかつしかで1008人の参加で開催しました。

新型コロナウイルス対策のため、直前まで状況を見据えながら、例年より規模を縮小しての開催となりました。開催方法は、2019年以来的分科会も交えた1日での開催となりました。

当日は、議長には市瀬常任執行委員と大塩分会長(北水元)が務め支部定期大会を行いました。午前中は、2021年度の

総括と2022年度の方針について議案提案、決算報告、会計監査報告、予算案の提案がされ、質疑討論となりました。

昼食をはさみ午後からは分科会を開催し、分科会報告、表彰式、そして役員改選となりました。役員改選における立候補者は代議員参加者による承認を受け、執行委員長には細田高砂分会の及川光太郎さんが就任しました。また、新たに副委員長に阿久津大造さん(奥戸)、書記次長に沼美幸さん(書記)が就任となりました。

質疑については、本田立石分会と細田高砂分会の2人から質問がありました。新役員の承認後、新体制となった役員全員が前に並び、及川新委員長からあいさつがありました。その後、大崎書記の本部異動の報告と及川委員長からの花束贈呈がありました。



テクノプラザかつしかを会場に1日開催の葛飾支部定期大会



異動の大崎書記(右)へ花束贈呈

【主な方針決定】

- ・分会再編協議の継続と役員体制の確立
- ・組織実増に向けた拡大運動
- ・公契約条例の更なる運動の推進
- ・自然災害に対応するNAM AZU組織の構築
- ・まちづくりセンターの充実

第69回葛飾支部定期大会 選出された役員のみなさん

第69回支部定期大会で選出された役員は次の通りです。支部執行委員長は、本部中央執行委員となります。

- ◆執行委員長 及川光太郎 とび・細田高砂
- ◆副執行委員長 阿久津大造 塗装・奥戸
- ◆千葉 修央 内装・青戸
- ◆佐藤 智夫 建築金物・中央



及川執行委員長

- ◆土屋 忍 型枠大工・幸田
- ◆書記長 小藤 隆之 書記局
- ◆書記次長 山屋 英 書記局
- ◆深谷 隆行 書記局
- ◆沼 美幸 書記局
- ◆四役待遇(本部常任中央執行委員) 後藤 英雄 大工・本田立石
- ◆賞金対策部長 日高 清 建築金物・中央
- ◆労働対策部長 近澤 敏彦 給排水・奥戸
- ◆仕事対策部長 糸賀 之充 石工・水元
- ◆技術対策部長 益子 栄治 内装・たつみ
- ◆税金経営対策部長 市瀬 隆 タイル・柴又
- ◆社会保障対策部長 阿久津 正 塗装・奥戸
- ◆厚生文化部長 井岡 進 石工・たつみ
- ◆組織部長 土屋 忍 型枠大工・幸田
- ◆後継者対策部長 阿久津大造 塗装・奥戸
- ◆教育宣伝部長 関根 伸正 電気・北水元
- ◆財政部長 千葉 修央 内装・青戸
- ◆PAL会長 佐藤 智夫 建築金物・中央
- ◆学習制度化委員長 関根 伸正 電気・北水元
- ◆女性の会担当役員 及川光太郎 とび・細田高砂
- ◆常任執行委員待遇 松山 兼智(青年部長)
- ◆折笠 和子(女性の会会長)
- ◆会計監査 上村 光輝 建具・たつみ
- ◆細貝 文洋 ハウスクリーニング・堀切
- ◆執行委員 村越 義一(たつみ)
- ◆南條 実(たつみ)
- ◆小泉 昭二(奥戸)
- ◆石塚 克久(奥戸)
- ◆佐藤 崇(本田立石)
- ◆林 武志(本田立石)
- ◆岩佐 勉(青戸)
- ◆東條 新也(青戸)
- ◆石井 秀嗣(中央)
- ◆青木 克介(中央)
- ◆小熊 正一(堀切)
- ◆筒井 豊(亀有)
- ◆中田 哲也(亀有)
- ◆小野瀬祐次(細田高砂)
- ◆安藤 正樹(柴又)
- ◆遠山 毅(新金町)
- ◆島村 茂(新金町)
- ◆大塩 勇(北水元)
- ◆佐々木寿治(北水元)
- ◆松山 文洋(幸田)
- ◆伊藤 兼夫(幸田)
- ◆深津 優気(水元)
- ◆三瓶 秀夫(水元)
- ◆執行委員待遇 岡野 秀夫(建長会会長)

ただ今仲間増やしの春月間中ですヨロヨロ!

寅さん

ただ今春の拡大月間真っ最中だ。組合にとって仲間増やしは欠かせない取り組みである。新型コロナウイルス感染症予防しながらの取り組みとなるが、東京土建の加入者を増やして、今年こそ実増を勝ち取る年にしていきたい。

昨年は、感染予防をしながら、春・秋の拡大月間は多くの組合員・家族の協力のもと、両月間で超過達成することができた。しかしながら、年間を通して実増を果たすことはできなかった。

拡大月間は、仲間増やしと同時に、組合員同士の交流・役員発掘など組織づくりの活動にも重きを置いている。分会においても役員の手の問題、高齢化の問題などがある。これは葛飾支部だけではなく、東京土建全体で取り組まなければならない大きな組織的な問題でもある。

分会・群問わず、役員をしている組合員からの意見からは、役員をやることで組合員同士の交流が深くなる、仕事のつながりができる、子育てがひと段落したのでみんなの役に立つことを考えるようになったなどの意見もある。

役員発掘には、定期的な声掛けが必要である。地道に粘り強く接点を持つきっかけとしてこの月間を利用してほしい。接点づくりには、楽しく参加できるレクリエーションも欠かせない。早く新型コロナウイルス活動が終息し、みなが楽しく組合活動ができる環境になることを切に願うばかりである。

葛飾支部大会 分科会報告

① 社会保障・税金経営対策・青年部 組合員への周知協力が必要



第1分科会報告者の赤川さん(右)川上さん(左)

【議長】赤川努(中央)・川上雅敏(新金町) 書記山澤康平(書記) 代議員13名、特別代議員1名、来賓2名の総勢16名で行いました。

はじめに、自己紹介の後、本部来賓の熊切書記次長、村本副主任書記よりあいさつがあり、その後、社会保障対策の議案提案を阿久津社会保障対策部長よりされました。議案提案を受け、予算要求ハガキの提出率と健康診断の



第1分科会会場

受診率それぞれ上げるにはどうすれば良いかについて議論をしました。予算要求ハガキについては、組合員がこのハガキ要請の必要性についてわかっていない。そのため、このハガキを書けば、予算が削られなくて済むので書いてくださいと声掛けをすることを徹底する必要があります。健康診断については、部長より、今年度受診率が上がっていること、今後受診率を下げないよう、今後受診率を上げる要因も重要。分会健診もやることも発言がありました。また、国保ガイドについてもまだまだ知らない人がいる。旅行補助などもぜひ活用してほしいと提案がありました。

ったことなど報告がありました。その上で一般組合員に来てもらうにはどうすれば良いかという話になり、中央分会の代議員からブロックごとに学習会を企画してみてもこの意見がありました。

その後青年部の報告がありました。最後に参加者全員の拍手で議案承認されました。

② 厚生文化・教育宣伝・女性の会 腰痛給付の制度改定も 支部へ相談を



第2分科会報告者 吉村さん

【議長】吉村孝(本田立石) 細貝文洋(堀切) 書記小野晶康(書記) 代議員19名、特別代議員1名、総勢20



第2分科会会場

インボイス制度の導入をこのコロナ禍で生活が厳しい時期にやるべきではないこと、土建が中止を求める働きかけ運動を行っていること。インボイス制度学習会について今年度2回開催したが、部員役員の同じ顔ぶれになってしま

③ 労働対策 石綿建材企業へ取り組み強化



第3分科会報告者 松本さん

【議長】松本賢一(柴又) 書記山松沢慶子(書記) 代議員8名、特別代議員1名、総勢9名で行いました。

支部へ相談を

はじめに、自己紹介をし、井岡厚生文化部長より議案提案がされました。まず、昨年度から今年度にかけてどけん共済制度改定についての説明がありました。特に組合総合共済において、腰痛給付に対して自宅療養を給付期間と認められました。また、この改定については、担当書記から腰痛は職業病との関連があるため、申請前に担当書記と相談をするようにと要望がありました。昨年度の火災・地震共済推進は目標達成には至りませんでした。民間損保の掛金の値上げ傾向に対して掛金の優位性、床下浸水にも対応できるなど、制度の優位性を訴えて、

はじめに議長、部長、参加代議員の自己紹介を行いました。続いて部長より、昨年度の経過報告がありました。①「じん肺・アスベスト被害の取り組み」として、2021年5月、東京1陣が最高裁で勝訴したことで、裁判を起さずに賠償金を受け取れる給

付金法が成立しました。2陣・3陣も和解が進んでいます。②「安全衛生対策の取り組み」では、労災事故状況の報告、安全衛生大会の実施、一人親方安全パトロールの実施結果が報告されました。現場の安全について討議があり、大手ハウスメーカーの現場では、屋内でタバコが禁止、吸殻を入れる缶を屋外に設置していることや、養生が張られていても靴は履き替えてスリッパに替えなければならぬこと、作業時間はきちんとして守らなければならないこ

と等が特徴であることが報告されました。対して、町場の現場では、就業前の安全確認がないこと、つい先週もハシゴの足元が滑って肋骨骨折の労災事故があったこと等、大手と町場のかけ離れた実態の報告がありました。また、町場ではヘルメットなしで作業したり、高所作業もハーネスなしで行うことなど、危険な実態が報告されました。③「労働保険と一人親方労災保険」では、労働保険加入状況が報告されました。④「情勢」では、アスベスト関連法改正、一人親方の適正化が国の取り組みとなっていることが報告されました。⑤方針では、アスベスト建材企業の責任追及に向けて第4陣の組織化、駅頭宣伝・署名への取り組みを強化するとの報告がありました。

参加者から、①大手では安全大会への参加は強制的なのに対し、一人親方など、個人では安全教育が手薄になるので、支部で開催する安全大会でも一人親方の参加に強制力を持たせてほしいという意見。②75才を過ぎて土建国保を外れても組合員で残れば労災アスベスト申請、給付金の申請サポートはしてほしいという確認がありました。土建国保加入者で提携病院でレントゲンを撮ると再読影によってアスベスト疾患の掘り起こしがしやすいですが、75歳以上の方で、不安や心配を抱えている場合は、ご自身で支部に相談してほしいという回答がありました。

最後に参加者全員の拍手で議案承認されました。

支部の会館を建て替える費用については、担当書記より「松田税理士からこのままで足りるか試算するようアドバイスをもらいました」と報告がありました。今後、検証を進めていきます。最後にすべての議案を拍手をもって承認し、終了しました。

⑦ 財政 国保料 当月納入の検討



第7分科会報告者 川添さん

【議長】川添ゆかり(細田高砂) 書記沼美幸(書記) 代議員12名、特別代議員1名、総勢13名で行いました。初めに、参加者全員の自己紹介をしました。次に千葉財政部長より議案の提案をしました。振込での納入について、説明をすると、どのくらいの費用がかかるのか、質問がありました。手数料の負担が年間200万円、通信費が年間400万円ほどがそれぞれかかっているとの回答がありました。

本部が検討していた振込での納入は進んでいませんが、国保料の当月納入の検討が今年度行われますとの報告がありました。

⑥ 組織・後継者対策

参加しやすい環境で役員作りを



第6分科会報告者 小野瀬さん

【議長】小野瀬祐次（細田高砂） 書記||日暮幹成（書記）||代議員15名、特別代議員3名、総勢18名で行いました。参加者の自己紹介のあと、組織部の議案提案、春の拡大月間についての具体的な行動提起が土屋部長より行われました。

全体で考えなければいけないと意見がありました。

北水元分科会代議員より、群会議を実施している分科会へ役員が書記が来て、行動してほしい。分科会と書記で力をあわせて協力していきたいと意見がありました。これに対して山屋書記次長から、議案で提案している通り、群会議オルグを実施したので、日程を報告していただきたいと答弁がありました。

議長より、役員をやっている、損ばかりではないこと、仲間ができた、仕事でつながりができたりするという報告がありました。

本田立石分科会代議員より、実増支部は数支部しかない。名前だけの加入は本田立石はやらなかった。組織拡大には若手の力が必要不可欠だと思っている。だからこそ若手が参加できるように魅力を支部

④ 賃金対策・建長会

実務型条例に前進しよう



第4分科会報告者 加々美さん

【議長】加々美基泰（中央） 書記||森淑彦（書記）||代議員10名、特別代議員4名、総勢14名で行いました。自己紹介の後、賃金対策部の報告、提案に入りました。

報告、提案後に質疑に入り、細田高砂分科会の代議員より、公契約条例について、事前通告の内容の確認をしました。日高部長より、実務型の区のデータをまとめてやっていくのが近道ではないか。江戸川区は理念型から10年かかったが、葛飾では7年・5年・3年など、短い時間で進められればと思うと回答がありました。佐藤副委員長からは、野

田市の公契約条例ができる直前に葛飾区にもその話をしたが、話が進まなかったなどの報告がありました。アンケートの議論については、佐藤副委員長から現場アンケートのデータが少ないとの意見、日高部長から群会議で群長に聞いてもらえたら良いのではとの意見がありました。水元分科会の代議員からは、日曜健診アンケートのようなものを群会議でやったらどうかとの意見がでました。休憩をはさんで、岡野会長から建長会の報告がありまし

に1回位開催して、子どもを含めた家族ぐるみで子育て世代が参加しやすくし、バスの中で役員について説明してもらい良い意見がありました。土屋部長よりまとめとして、拡大訪問でコロナ禍の行動だったが、訪問は拒否されなかった。訪問対話することで悩みか要求を聞くことができた。数を増やすだけではなく、仲間の意見を聞く行動をやっていきましょうという答弁がありました。

次に後継者対策の議案提案を阿久津部長より、その後討議を行いました。

日暮担当書記より、後継者対策部の具体的な説明、部会の出席率についての説明がありました。

たつみ分科会代議員より、健診宣伝行動の際に、組合の色々な制度について、当日健診に来た組合員から質問があります。後継者対策部員のレベルアップのためにも学習会を開催してほしい。

本田立石分科会代議員より、集金方法を変えていってほしい。なるべくキャッシュレスにして役員の負担を減らしてほしい。役員の仕事も楽にすれば、なってくれる人も増えるんじゃないかと意見がありました。これに対して、及川委員長より、役員を交代制に

本田立石分科会の代議員より、名前がわかりにくいし、やっている内容がわからない。専門用語が多く使用されていて、響かない。なるべく使用しないでほしい。

中央・北水元分科会代議員より、加入が拡大に目を向けないうで、脱退理由にも着目したり、もっとメリットを明白にし、まとめてくれると勧誘しやすいと意見がでました。これに対して、山屋書記次長より、わかりやすいメリット集を作成しますと答弁がありました。拡大を分科会任せにしないで支部でもなぜ組合に加入した方がいいのかをみんなで考えた方がいい。

北水元分科会代議員より、集金方法を変えていってほしい。なるべくキャッシュレスにして役員の負担を減らしてほしい。役員の仕事も楽にすれば、なってくれる人も増えるんじゃないかと意見がありました。これに対して、及川委員長より、役員を交代制に

た。水元代議員より、会員の中には仕事で昼の会議は出られない会員もいる。時間を夕方や夜にできないか検討してほしいとの意見があり、会長より検討しますとの回答がありました。また、斎藤副会長より65歳の若い人に声をかけてもまだ現役だと言われている。会員拡大が難しい。自分が建長会に入っている認識がない人が多い。などの意見がありました。

最後に参加者全員の承認を得て分科会が終了しました。

⑤ 仕事対策

NAMAZU活動の活発化



第5分科会報告者 永井さん

【議長】永井則夫（たつみ） 書記||深谷隆行（書記）||代議員8名、来賓1名、総勢9名で行いました。参加代議員、来賓の自己紹介、挨拶の後に益子産対責任者より、仕事対策部から報告、提案を行い、参加の代議員より次の質問・意見がありました。

本田立石分科会の代議員より、午前中にも質問したが、NAMAZUの活動をもっと大々的に行えるために、予算をしっかりと取る。取ることでも活動も派手に深くできる。との意見に対して、他の参加者からも同様の意見があり、葛飾の住民がNAMAZUの存在を知らない人もいるのは。地域に知ってもらう活動

を望みたい。との意見がありました。これを受け、来賓の後藤さんより墨田区の活動事例の報告をしてもらい、例として地域とのコミュニケーションや自治体対策にもなるのではとの意見がありました。執行部からは、コロナ禍で行えていないが、NAMAZUでは防災公園や防災センター見学に災害夜行シュミレーションも計画に入っている。訓練参加時に意見をもらっているのでもう出してもらいたいと回答がありました。

また本田立石分科会代議員より、NAMAZUの活動はNAMAZUデーとして支部行事として各分科会行えるくらいにやってもらいたいと要望がありました。他の代議員からは、住宅デーがないのは土建らしい土建をアピールする場がないのはさみしい。NAMAZUに参加したが、当初は何をしていいのかわからなかった。参加してわかったが、

少し忘れてきているので、少し多めに開催してもらいたい。訓練は被災者がけがしていないが前提。怪我した人への訓練も必要ではないか。住宅デーはどうするのかと質問・意見がありました。これに対して、訓練は取り入れていきたい。住宅デーは行う前提で提案はします。これを実行委員会でき意見をもらいますとの答弁がありました。

休憩後、技術対策部では益子部長より報告提案がされました。参加した代議員より力レッスンの費用の質問を受け、入学金30000円、月額31000円に教材費20000円であると回答がありました。

以上で時間になり、両部会承認をいただき、閉会しました。

今年最初の集団健診

131人が受診

特定保健指導も実施

2022年4月17日にテクノプラザかつしかで支部集団健診を実施しました。前回と同様に支部集団健診から健診と特定保健指導を同じ会場で行いました。会場で、保健師と面談をし、一定期間電話やメール等で、生活習慣の改善を目標

指します。特定保健指導対象者が初回面談を受けた方にクオカード3000円を国保組合からお渡ししています。また、新型コロナウィルス対策として、サーモグラフィ設置や会場が密にならないよう人数制限や時間制を行いました。今後も支部迄お問合せ下さい。

続しますので、ご協力をお願いします。受診者は131名でした。次回は女性限定健診を6月19日に葛飾支部で行います。また、この女性限定健診は一部オプション検査が補助の対象となっており、詳しくは葛飾支部迄お問合せ下さい。



テクノプラザかつしかでの集団健診

春の拡大成果表

	2022年 1月 1日付	2022年 5月 1日付	1月比 増減	春拡大 目標	春拡大 加入数	春の拡大 成果表 5月1日現在																	増減		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
た つ み	491	483	-8	17	4	●	●	●	●																増減▼8
奥 戸	398	393	-5	14	7	●	●	●	●	●	●														増減▼5
本田立石	325	322	-3	11	4	●	●	●	●																増減▼3
青 戸	155	152	-3	5	2	●	●																		増減▼3
中 央	398	380	-18	14	4	●	●	●	●																増減▼18
堀 切	262	258	-4	9	5	●	●	●	●	●															増減▼4
亀 有	373	375	2	13	3	●	●	●																	増減○2
細田高砂	379	380	1	13	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							増減○1
柴 又	180	175	-5	7	1	●																			増減▼5
新金町	315	304	-11	11	6	●	●	●	●	●	●														増減▼11
北水元	200	193	-7	7	5	●	●	●	●	●															増減▼7
幸 田	275	273	-2	10	7	●	●	●	●	●	●	●													増減▼2
水 元	376	381	5	13	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							増減○5
そ の 他	181	193	12	7	4	●	●	●	●																増減○12
合 計	4308	4244	-46	151	73																				
						4月73人 5月 人 合計=73人																			

1月1日付人員比 マイナス 46人



阿久津副委員長による締めあいさつ

役員学習と出陣式

細田高砂が10人の持ち寄り

第69回支部定期大会後の支部の最初のイベントを4月13日（水）シンフォニーヒルズアイリスホールを借り切り、開催しました。教育宣伝部が主催の「分会役員学習会」と組織部が主催の「春の拡大出陣式」を初の試みとして合同で2部制に行いました。参加者は、本部来賓を含めて102人。

前半は役員学習会を関係教育宣伝部長の司会のもと進行。時間に限りがあるため、役員の任務に特化した内容となりました。後半は春の拡大出陣式で、土屋組織部長のあいさつで本格的に拡大月間突入となりました。

拡大出陣式では、春一番を達成した奥戸・中央・細田高砂分会への表彰。その後各分会

平和を求める運動 各地で開催

戦争反対の うねりひろがる



亀有の葛飾憲法の集いのデモ行進

代とみられる方や高校生も多く参加され、署名を求めたりウクライナへの募金活動もしてました。集会終了後は会場から錦糸町駅先の大横川親水公園までの約2.6kmのデモ行進。今年ロシアのウクライナ侵襲、さらにチェルノブイリ原発、ザポリージャ原発の攻撃、占拠には世界に衝撃を与えています。福島原発事故から11年、事故を風化させず原子力政策の根本的転換を求め今年も「さよなら原発」の声をあげてきました。

「戦争反対！命がだいじ！9条いかせ！」をメインスローガンに、4月17日（土）13時から、2022年葛飾憲法の集いを開催（会場：亀有リオパーク）。コロナ禍ではありませんでしたが、参加者は、154人、うち葛飾支部からは23人が参加しました。

集会は、密にならないように間隔をあげながらの参加とし、ゲストスピーカーや各団体からのリレートークなどを交えながら進行。今年、ウクライナ情勢をうけ、改めて戦争反対の声を大きくする集会となりました。また、日本国内においても一部の政治家から「軍備の増強」や「憲法9条改憲」、「核シェアリング（核共有）」などの発言があることへの危機感を強める集会でもありました。

集会後は、亀有駅周辺をデモ行進。訴えはスピーカーから、参加者はプラカードを持ちながら、平和を訴える行進をしました。

会が壇上へ登壇し、スローガンを読み上げての決意表明となりました。各分会元気いっぱいにスローガンを読み上げて、拳を突き上げ「ガンバルぞー」と。持ち寄り成果では、細田高砂分会の10人を筆頭に40人の成果が発表されました。支部目標は151人で、まだまだこれからですが、みなさんの協力で目標達成をめざします。未加入の建設労働者が周りにいたら、東京土建加入を進めましょう。

- 【統一行動日】
- 第4次：5月11・12日
- 第5次：5月18・19日
- 第6次：5月25・26日

- さよなら原発集会
- 2300人が参加



亀戸中央公園からデモ行進

新入学祝金

申請で5千円 図書カード

22年4月に小学校・中学校に入学したお子さんがいる組合員さん、今年度の「新入学祝金」の申請が始まりました。

申請すると、5000円の図書カードがもらえます。時効は1年間（来年3月まで）ですが、申請忘れがないように、早めの申請をお願いします。申請をされる方は、申請書と添付書類を添えて、

ご提出ください。申請に関するお問い合わせは、組合事務所までご連絡をお願いします。

